

寄港地情報

出発日によって航路が異なる為、
この度のご旅行では寄港しない寄港地の情報も
掲載しております。予めご了承ください。
次回のご旅行の際にお役に立てば幸いです。

11/23 出発・12/9 出発・
12/21 出発・1/19 出発は、
宮古島への寄港はございません。
12/1 出港は、石垣島への寄港はございません。

阪急交通社

【石垣島編】

MSCベリッシマが着岸する港は『石垣港 新港クルーズ岸壁』の予定です。

住所：沖縄県石垣市南ぬ浜町

※船側の都合により急遽変更となる場合がございます。シャトルバスの運行はありません。

◆石垣島おすすめ情報・エリア編◆

★ユグレナ石垣離島ターミナル★

八重山周辺離島への船舶が発着するターミナル。石垣島のヒーロー、具志堅用高の像があり記念写真の人気スポットでもあります。

★730交差点エリア★

沖縄本土に復帰してから6年後の昭和53年（1978年）7月30日、米軍の統治下では右側通行だった車道が左側通行に変更されました。その日付を刻んだ記念碑が交差点の脇に立ち、近年は観光客の記念撮影スポットになっています。

★ユグレナモールエリア★

島内唯一のアーケード街であるユグレナモールを中心に土産物ショップや個性豊かな雑貨店や飲食店などがたくさん並んでいます。

★美崎町エリア★

美崎センター通り、美崎通りの2本の通りを中心に居酒屋や焼肉店、民謡酒場などが集まっています。飲食店ビル「石垣島ヴィレッジ」には、昼からお酒を楽しめるお店もあります。

★南ぬ浜町人工ビーチ★

クルーズ船が入港するターミナルのある人工島内のビーチです。南ぬ風を受けながらビーチまでお散歩してみてはいかがでしょうか？（片道徒歩約20分程度）

★南ぬ浜町海浜緑地公園★

南ぬ浜町ビーチのそばにある緑地公園（徒歩約25分）は遊具や施設、展望台などもあり、お子様を連れて遊んだりもできます。公園横の遊歩道には100匹近い猫が生息しており、人馴れし、とても懐っこい猫だそうです。このことから南ぬ浜町はキャットアイランドや猫の島と呼ばれています。ビーチと公園をお散歩し、猫たちに癒されるのはいかがですか？

・・・ちょっと足を延ばしてタクシー又はレンタカーでの移動となりますが・・・

★平久保崎灯台★

石垣島の最北端にある灯台。目の前に広がる広大な青い海が一望できる絶景ポイントです。

★川平湾★

真っ白な砂浜に”カビラブルー”の海が広がる石垣島 NO.1 の絶景スポット。

天候や時間帯によって、海の色が七色に変化するのが特徴！景色を眺めながら周辺をお散歩してみるのもおすすめです。また、黒真珠の養殖でも知られています。

★玉取崎展望台★

石垣島の美しい青い海や「シーサーのしっぽ」と呼ばれる平久保半島を一望できます。

★石垣やいま村★

赤レンガの屋根を移築して昔ながらの街並みを再現したテーマパーク。昔の玩具作りや、唄や踊りなどの体験アトラクションのほか、カンムリワシ保護ゲージや珍しいボリビアリスザルの餌やりも人気があります。

★石垣島鍾乳洞★

隆起サンゴ礁でできた島の石灰岩層が、5~20 年前に浸食されてできた鍾乳洞。全長 3.2 km のうち、660 m が公開されています。石筍、石柱のほか、サンゴや貝類の化石を見ることもできる神秘的な空間が広がります。

◆石垣島おすすめ情報・ご当地グルメ編◆

★石垣牛★

銘柄牛として全国的に有名な「石垣牛」

八重山郡内で生産・育成された黒毛和種の中でも約 20 か月以上肥育管理されるなど、特定の基準を満たしたものだけが認定されます。ジューシーなお肉の味わいをぜひご賞味ください！

★ロイズ石垣島★

石垣島限定で沖縄県産の黒糖を使用しています。黒糖の素朴な甘みがチョコレートと溶け合い、深みのある味は、一度食べたら止まらない！やみつきになります。

★マリヤシェイク★

地元のマリヤ乳業自慢の牛乳から作られるコクのあるシェイクです。

離島ターミナル内「七人本舗」でも販売しております。

★「オニササ」

石垣島ご当地グルメとして知られる「オニササ」。おにぎりとマヨネーズやウスターソースで味付けされた鶏のささ身フライを、ビニール袋に入れ握って食べる、石垣島の知念商会発祥の B 級グルメです。

寄港地情報【基隆編】

MSCベリッシマが着岸する港は、『基隆西ふ頭ターミナル』の予定です。

住所：200 台湾 Keelung City, Ren’ ai District, Gangxi St, 16 號 18 號

※船側の都合により急遽変更となる場合がございます。シャトルバスの運行はありません。

また、ターミナルではお土産を購入できるブースも予定されております。ブースによっては、日本円（紙幣のみ）もご利用いただけますが、おつりは台湾ドルとなります。簡単な地図は下船後のターミナル内に用意される予定です。ご活用ください。

★ご注意★

- ・お手洗いにトイレットペーパーが無いことが多いのでティッシュペーパー等を忘れずに
お持ちください。使用した紙は流さずにゴミ箱に入れてください。

- ・台湾・基隆に入国時、持ち込みが厳しく禁止されているもの

- ・果物や野菜、肉類、肉エキスが入っている加工品（お菓子も含む）

- ・加熱式・電子タバコ、葉巻

※港での手荷物検査で罰金の対象となりますので、船内から持ち出さないようにご注意ください。罰金はその場で支払いを求められ、場合によっては寄港地観光に参加できなくなる可能性もありますのでご注意ください。（※罰金の例：バナナ 1 本 ⇒ 5,000 円）

- ・紙巻タバコですが、喫煙所以外での喫煙に対しては、厳しい罰則がありますのでご注意ください。

◆基隆プチお土産情報◆

台湾のお土産と言ったらこれ！！

●パイナップルケーキ

しっとりとした食感でパイナップルの酸味が効いた味。パッケージが素敵なことも人気の理由ですね。

●ドライフルーツ

日持ちするのでお土産にも GOOD！ 台湾らしさにこだわるならマンゴーですよ！

●台湾茶

台湾の方もお茶が大好き！しかも質の高い茶葉が、かなりお手頃価格で手に入ります。帰国後も台湾気分を満喫できます。

●からすみ

高品質でお値打ち！

高価なイメージの珍味なのでグルメの人にはげたら喜んでくれるはずですね(^^♪

●ハスの実

台湾名産のハスの実を砂糖漬けし、甘納豆風に仕上げたお菓子です。

●マンゴープリン

マンゴー果汁をたっぷり使用した風味豊かなプリン。果物を食べているかのような本格的な味わいをお土産にいかがでしょうか。

【宮古島編】

MSCベリッシマが着岸する港は『平良港 クルーズ岸壁』の予定です。

住所：沖縄県宮古島市平良字西仲宗根 2-43

※船側の都合により急遽変更となる場合がございます。

※岸壁↔ターミナル間は、歩行禁止区域の為、バスでのご移動となります。

※ターミナルから市内への無料シャトルバスの運行はございません。

【交通機関について】

【最寄りのバス停】

☆ターミナル→マティダ劇場前 徒歩約20分

☆ターミナル→北小前（旧市役所前） 徒歩約20分

☆ターミナル→都第一ホテル前 徒歩約15分

【タクシー利用の目安】初乗り運賃 500円(463メートル/100円)

☆池間島・与那霸前浜ビーチ：平良港より車で約30分

☆東平安名崎：平良港より車で約40分

☆雪塩ミュージアム：平良港より車で約20分

市街地や来間島、ビーチ近くまで停留所があります。

☆平良港よりうえのドイツ村まで約30分

◆宮古島おすすめ情報・ご当地グルメ編◆

宮古島に来たなら、一度は食べたい！ご当地グルメをご紹介♪♪♪

★宮古そば★

宮古そばは、素うどんのようなシンプルな見た目をしているのが特徴です。具材は豚の三枚肉の他に、宮古島特産の波打ち形状のかまぼこを薄く切り、麺の下に盛り付けます。具材が麺の下に隠れているだけでなく、あっさりとした出汁の味と平麺であることも特徴的です。出汁は、鰹出汁が主流で最後に麺の上には刻みネギのみをトッピングするのが伝統的な宮古そばの完成系です。

★てんぷら★

宮古島ではてんぷらは「おやつ」！野菜、魚、もずく、アーサーなどバリエーション豊富なてんぷらはアツアツがおすすめです！

★サーティーアンダギー★

沖縄の郷土菓子である「サーティーアンダギー」ですが、宮古島では「さたぱんびん」と呼ぶこともあります。最近では手作りレシピなどもネットに掲載されていますが、せっかくなら名店の味をお楽しみください♪「なかゆくい商店」の、紅芋サーティーアンダギーは人気の商品。口の中の水分が取られ油っぽいと感じる方も多いと思いますが、なかゆくい商店では、外はサクッと、中はふわふわとしていて一度食べたら虜になること間違いないです！

★うずまきパン★

宮古島に来たらこれを食べないと！島のソウルフード「うずまきパン」は子供から大人までが大好きなパン。何とも言えないクリームの食感がやみつきになります！

◆宮古島おすすめ情報・お土産物編◆

★雪塩★

雪塩は海水を、琉球石灰岩の地層を通して汲み上げた地下海水を原料に、海の成分を多く残し作られています。通常は取り除いてしまうニガリ分も含まれているのが特徴で、マグネシウムやカリウム、カルシウムといった成分が通常の塩よりも多く含まれています。さらさらとした粉末状になっていて、海そのままが雪塩になっています。

雪塩を使った、ちんすこうやサイダー・スキンケアグッズなど様々な商品を楽しむことができます。

★マンゴー★

宮古島県産のマンゴーはオレンジ色で甘みが強く、適度な酸味も含んでいるため濃厚な味わいが特徴的です。果実をすりつぶした商品もあり1年を通して、完熟マンゴーの味を楽しむことができます。ストレートで飲む外にも、炭酸水やヨーグルトにかけたりと、様々なアレンジを楽しむことができます。

★久松五勇士★

宮古島銘菓「久松五勇士」。名前の由来は、島の英雄として伝わる5人の勇者から名付けされました。しっとりした生地にバタークリームが入ったもので、生地には宮古島産の黒糖が使われ、独特的の製法により黒糖の味と香りを生かしています。

★宮古島まもる君★

宮古島の交通を24時間365日まもるよう呼び掛けるためにつくられたキャラクター。クッキー・ちんすこう、みるくパイ、ステッカーなど様々な商品があります。キモかわいいお土産で話題になること間違いないです。

【那霸編】

MSCベリッシマが着岸する港は『那霸港 第二クルーズバース』の予定です。

住所：沖縄県那覇市港町4丁目4

※船側の都合により急遽変更となる場合がございます。

【交通機関について】

タクシー利用の目安：初乗り運賃 560円（最初の1.75キロまで）乗り場はターミナル出るとすぐにあります。

☆国際通り（県庁前）・・・港からタクシーで約20分

☆第一牧志公設市場・・・港からタクシー約25分

☆首里城・・・港からタクシーで約30分、モノレール「首里」駅下車徒歩15分

☆おきなわワールド・玉泉洞・・・港からタクシーで約60分

☆沖縄美ら海水族館・・・港からタクシーで約1時間半～2時間（片道約13,000円前後）

◆那覇おすすめ情報・ご当地グルメ編◆

那覇に来たなら、一度は食べたい！ご当地グルメをご紹介♪♪♪

★ソーキそば★

鰹と豚骨のだしが絶妙に合わさったソーキそばは、沖縄のソウルフードです。ソーキは豚のあばら骨付き肉（スペアリブ）を指し、ソーキの他にはかまぼこやネギなどがのっています。

ソーキそばの麺は小麦粉で作られており、本土のそばとは異なる食感と喉ごしを楽しめます！

★八重山そば★

沖縄の八重山諸島でよく食べられる八重山そばは、他の沖縄そばとまた違う麺が特徴です。八重山そばの麺は細くて断面が丸く、あまりうねっていません。具材は豚三枚肉（豚バラ肉）やかまぼこ、島ネギといった沖縄定番食材の組み合わせが基本です。

★ゴーヤーチャンプル★

沖縄県の郷土料理の定番ともいえるほど知名度のある料理です。

チャンプルーは沖縄の方言で「ごちゃまぜ」という意味で、その名の通り、ゴーヤー、豆腐、卵、豚肉などを炒めた料理です。ゴーヤーは「夏野菜の王様」といわれる食材で、ビタミンCが豊富に含まれています。また、ゴーヤーの独特の苦味は、食欲増進効果もあります。卵と豆腐が入りマイルドになることで食べやすく、夏バテ防止としても親しまれているメニューです。

★タコライス★

メキシコ料理であるタコスの具をご飯の上に乗せて食べるのを「タコライス」といいます。タコライスは沖縄生まれの食べ物ですが、生まれは新しく1980年代に入ってからの物です。沖縄県の金武町が発祥の地として有名です。タコスの具にご飯、それにサルサソースをかけて食べる沖縄を代表する食べ物です。

◆那覇おすすめ情報・お土産物編◆

★ちんすこう★

ちんすこうの元祖である「新垣ちんすこう」は、沖縄お土産の代表格として高い人気を誇っています。琉球王朝時代からの伝承と技術を受け継いで作り上げたちんすこうは比較的食べやすい食感なので、ベーシックなものを求めている方には特におすすめ。食べやすい一口サイズの商品は小さなお子様向けにもおすすめです。色々な味がありますので、お好みの味を探してみてはいかがでしょうか??

★紅芋タルト★

国際通りに3店舗ある「御菓子御殿」から販売されている「紅いもタルト」は、紅いもの香りと、口の中で溶ける甘さがクセになると大人気。保存料や着色料は使わず、沖縄県産紅いも100%で仕上げているので素材そのものの味を堪能できます。また御菓子御殿では、ケーキ仕立ての「紅いも生タルト」や、洋菓子・和菓子を詰め合わせにした「紅づくし」など、タルト以外にもおいしい商品がたくさんあるので、ぜひ店舗へ訪れて選んでみてください！

★島とうがらし★

沖縄料理屋に行くと、テーブルでよく見かける「島とうがらし」。沖縄の方言で“こーれーぐーす”と言い、沖縄で生産された香辛野菜のことです。泡盛に漬け込んで調味料として使用するのが一般的。さまざまなメーカーから発売されており、漬ける泡盛の種類によって味もいろいろ変わるので、地元の方が集まるスーパーでおすすめを聞いてみると、思わぬ逸品に出会えるかもしれません♪

★サーティアンダギー★

沖縄の郷土菓子である「サーティアンダギー」。最近では手作りレシピなどもネットに掲載されていますが、せっかくなら名店の味をお土産に♪

「歩のサーティアンダギー」は、遅い時間のみならず、時には販売開始10分ほどで売り切れになってしまうこともあるほど人気の商品。小麦粉、砂糖、ミルク、卵黄だけで作ったやさしい味わいは、一度食べたら忘れられないおいしさです。

★オリオンビアナッツ★

オリオンビール酵母入りの「オリオンビアナッツ」は、ビールによく合うおつまみとして人気。沖縄へ訪れたら、現地で食べる用とお土産用に大量購入する方もいるのだとか。

1袋の中にアーモンドチーズ味、タコス島唐辛子味、ウコンカレー味の3種類が入っています。